



令和6年2月3日(土)
公開シンポジウム



良好な水環境の創出(里水)を目指して —東広島市を中心に—

開会挨拶および 趣旨説明

なぜ、良好な水環境の創出が必要なのか？
様々なリスク? が迫るから…

小野寺真一

広島大学 大学院先進理工系科学研究科 教授
広島大学健全流域研究センター代表
西条・山と水の環境機構 運営委員など



災害関連死の要因にも…断水長引く大規模災害下の『命の水』名古屋で20年かけ整備中の“しなる水道管”とは

1/29(月) 21:21 配信



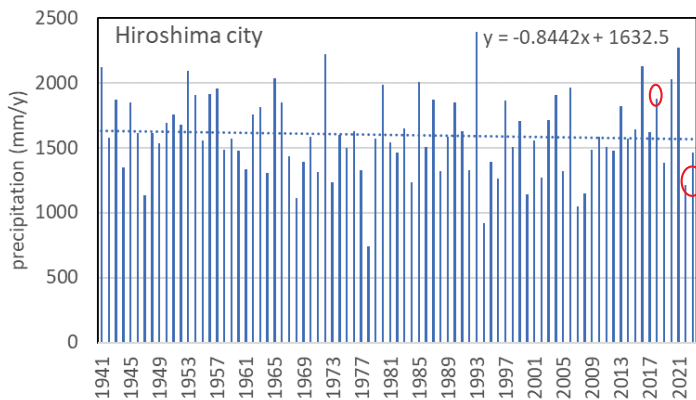
■東日本大震災では約3800人が死亡…「災害関連死」は水もきっかけに

総合防災・減災を専門とする関西大学の奥村と志弘(よしひろ)教授(43)は、水不足が長引くことによる、被害の拡大を懸念する。



能登半島地震; 2024/1/1

降水量の変動傾向



気候変動 → 渇水化傾向; 1994, 2006/07, 2022/23

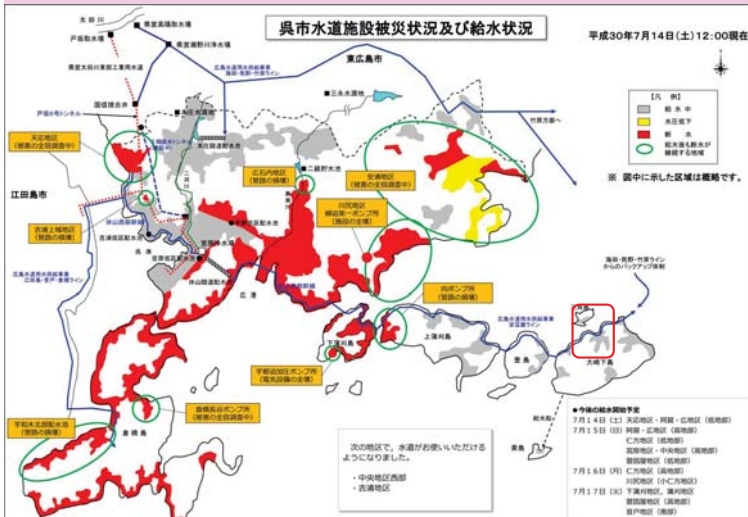
集中豪雨・土砂災害; 2018

2024年1月 渇水状況

使用量 ≥ 水資源量



西日本豪雨201807



本日の目標

@気候変動・地震などの非常時を含む
持続可能な水利用とそれを取り巻く
水環境の保全是重要な課題

東広島を中心に地域の視点で、
「良好な水環境の創出(里水)」のため、
①現状・課題を共有
②将来に向けての展望について議論

里水の恵み



瀬戸内海流域の水利用システム(超有効利用)を「里水」として発信

